

令和7年3月27日
農推第1292-12号

病害虫発生・防除情報メールサービス

大阪府環境農林水産部農政室

目次	ページ
特に発生に注意【たまねぎ：べと病】	1
病害虫の発生予報(4月)	2
野菜【なす、たまねぎ、野菜類】	2～5
果樹【もも、バラ科果樹】	5～6

特に発生に注意(4月)

たまねぎ：べと病



二次感染株の症状

前年度の予察巡回調査で多発であったことから、今年度も多発する恐れがある。

特徴

- ◆ 好適条件(気温15℃前後で多雨)が揃うと急速にまん延する恐れがあることから、予防散布が重要である。
- ◆ 多発する年には4月上旬ごろより発生が見られるため注意する。

防除のポイント

- ◆ 発生が見込まれる時期にジマンダイセン／ペンコゼブ水和剤、ダコニール1000等を、発生を認めたら、ベトファイター顆粒水和剤、リドミルゴールドMZ等を散布する。
- ◆ 発病株は取り除き、ほ場外へ持ち出し処分する

<病害虫防除グループホームページに関するお知らせ>

これまで本メールサービス等を掲載していた当グループホームページ <https://www.jppn.ne.jp/osaka/> は、令和6年10月末で更新を終了し、以後は以下の新ホームページへ情報を掲載します。旧ページは令和7年3月末にサーバ停止により接続できなくなりますので、ブックマーク等の更新をお願いいたします。

新ホームページ「病害虫防除に関すること」

アドレス：<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/index.html>

次回の情報は4月下旬にお知らせします。

農薬を使用する際には、必ず農薬のラベルを確認してください。

病害虫の発生予報(4月)

作物名	病害虫名	予想発生量(4月)
なす(施設栽培)	すすかび病	平年並
	灰色かび病	やや少ない
	うどんこ病	やや少ない～平年並
	アザミウマ類	やや少ない～平年並
たまねぎ	べと病	やや少ない～平年並
	白色疫病	やや少ない
	ネギアザミウマ	少ない～やや少ない

※予想発生量は、平年値(概ね過去10年の平均)に比べて、「多い・やや多い・並・やや少ない・少ない」の5段階で示しています。

※予報の根拠は下記ホームページ内の「病害虫発生予察情報」の該当月をご確認ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/index.html>

野菜

なす(施設栽培)

すすかび病



葉の病斑

特徴

- ◆ 高温多湿になる施設栽培で発生が多い。

防除のポイント

- ◆ 適度に換気を行い、湿度を下げる。
- ◆ 発生が見込まれる時期にベルコート水和剤、ダコニール1000等を、発生を認めたらスコア顆粒水和剤、パレード20フロアブル等を散布する。
- ◆ 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

灰色かび病



被害果

特徴

- ◆ 咲き終わった花卉や幼果に感染しやすく、20℃程度の多湿な環境条件や過繁茂で発病が多くなる。

防除のポイント

- ◆ 適度に換気を行い、湿度を下げる。
- ◆ 発生が見込まれる時期にベルコート水和剤、セイビアーフロアブル20等を、発生を認めたら、ゲッター水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤等を散布する。
- ◆ 開花後の花卉を取り除く。
- ◆ 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

なす(施設栽培)

うどんこ病



葉表の病斑



葉裏の病斑

特徴

- ◆ チッソ過多で気温が25～28℃、湿度が50～80%で日照不足が続くと発生する。

防除のポイント

- ◆ 発生が見込まれる時期にベルコート水和剤、フルピカフロアブル等を、発生を認めたらパンチョTF顆粒水和剤、スコア顆粒水和剤等を散布する。
- ◆ 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。

アザミウマ類



ミナミキイロアザミウマ成虫※

特徴

- ◆ 苗からの持ち込みにより本ぼでの発生が多くなる。
- ◆ ミナミキイロアザミウマによって葉が加害されると、葉脈に沿って不規則な白斑が生じる。また、ミカンキイロアザミウマによっては、葉脈間に白斑が生じる。

防除のポイント

- ◆ 発生が見られたら、モベントフロアブル、ファインセーブフロアブル等を散布する。
- ◆ 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。
- ◆ 雑草はアザミウマ類の生息場所となるため、ほ場内および周辺の除草を徹底する。

たまねぎ

白色疫病



白色疫病発病株

特徴

- ◆ 1～2月が温かく、3～4月が冷涼で雨が多いと発生する。

防除のポイント

- ◆ 発生が見込まれる時期に、ジマンダイセン水和剤、ダコニール1000を、発生を認めたら、発病株を抜き取った後、バトファイター顆粒水和剤、リドミルゴールドMZ等を散布する。
- ◆ 抜き取った発病株は、健全株への感染源となるため、集めてほ場外に持ち出し、処分する。

ネギアザミウマ(IYSV)



成虫※



えそ条斑病※

特徴

- ◆ 成幼虫が葉の汁を吸い、吸われた痕はカスリ状に色が抜けて白くなる。
- ◆ タマネギえそ条斑病を引き起こすIYSV(アイリスイエロー スポットウイルス)を伝搬する。

防除のポイント

- ◆ 発生を認めたら、グレースィア乳剤(鱗茎類 アザミウマ類)、モスピラン顆粒水溶剤(アザミウマ類)等を散布する。
- ◆ ウイルス病に対する治療方法はないので、ウイルスを媒介するネギアザミウマの防除を徹底する。
- ◆ 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。

野菜

野菜類(施設栽培)

コナジラミ類



タバココナジラミ成虫※ タバココナジラミ幼虫



トマト黄化葉巻病発症株

特徴

- ◆ 葉の汁を吸ってネバネバした液を排泄し、その上にすす病が発生するため、葉や果実が黒く汚れる。
- ◆ トマトやミニトマトでは、タバココナジラミの吸汁による果実の着色不良、TYLCV(トマト黄化葉巻ウイルス)の伝搬等の被害を引き起こす。トマト黄化葉巻病に感染すると、生育の停止・着果不良を起こす。
- ◆ きゅうりでは、タバココナジラミがキュウリ退緑黄化病を引き起こすCCYV(ウリ類退緑黄化ウイルス)を伝搬する。

防除のポイント

- ◆ 施設開口部に目合い0.4mmのネットを展張し、コナジラミ類の侵入を阻止する。
- ◆ 施設周辺及び内部の除草を徹底する。
- ◆ 発生を認めたら、ベストガード水溶剤(なす、トマト、ミニトマト、きゅうりなど)、アグリメック(なす、トマト、きゅうりなど)等を散布する。
- ◆ ウイルス病に対する治療方法はないので、ウイルスを媒介するタバココナジラミの防除を徹底する。
- ◆ 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。
- ◆ ウイルス病の感染株は、施設外へ持ち出し処分する。

病害虫発生予察注意報第5号「コナジラミ類」
(令和6年8月29日発出)についてもご参照ください。

https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84527/2408_chuuihou05_konajiramirui_soshin.pdf

果樹

もも

せん孔細菌病



春型枝病斑



葉の病斑

特徴

- ◆ 春になると越冬した病原菌が増殖し、春型枝病斑(スプリングキャンカー)を生じる。
- ◆ 病原細菌は、雨水に混じって分散し、気孔や傷口から感染する。

防除のポイント

- ◆ 開花期直前にムッシュボルドーDFを散布する。
- ◆ 春型枝病斑を見つけたら、落花期までに切り取ってほ場外に持ち出し処分する。
- ◆ 風当たりの強いほ場では防風ネットを設置する。

果樹

バラ科果樹(もも、すもも、うめ等のサクラ属)

クビアカツヤカミキリ



フラス



幼虫

株元に溜まったフラス



成虫

防除のポイント

- ◆ 秋に大量のフラス(木くず等の混合物)を出している被害樹からは翌年の6～8月に成虫が羽化してくる可能性が高いので、冬～5月までにネットを樹幹にゆったりと巻き付け、羽化した成虫を閉じ込め、他樹への分散を防ぐ。
- ◆ ネットの上端はしっかり固定し隙間ができないようにするとともに、根までしっかりと覆い、下部はバグなどで地面との隙間がないように固定する。



ネットを樹幹にゆったりと巻きつけた様子



下部をバグで固定した様子

- ◆ 幼虫は3月下旬から中華麺～うどん状のフラスを出すので注意する。
- ◆ フラスを見つけたら、千枚通しや針金等を穴に入れ、中のフラスをかき出してからロビンフッド、ベニカカミキリムシエゾールを注入するか、幼虫を突き刺して殺虫する。
- ◆ 被害が大きい樹は伐採し、破碎(チップの厚さは10mm以下を目安)や焼却することが望ましい。
- ◆ 伐採した枝や幹はほ場に放置せず処分する。すぐに処分できない場合は、ネットやビニールシート等で2重に覆う。
- ◆ 幼虫は根部も加害するため、なるべく抜根する。抜根できない場合は、伐採後の切り株をネットやビニールシート等で2重に覆い、内部の幼虫の羽化後の分散を防ぐ。

ネットの巻き方や伐採樹の処理等について詳しくは
「クビアカツヤカミキリの生態と防除対策(R7.3改訂版)」もご参照ください。
https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/91954/kubiaka_osaka.pdf